

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	訓練用水消火器詰め替え作業中の事故。
3. 体験した事例の中心的要素	〇〇自治会の防災訓練指導のため、上司より訓練用水消火器 6 本を用意するよう命令された。他の仕事も溜まっていたので、手早く済ませようと思い作業にとりかかった。 初めのうちは、ゲージによる残圧確認及び、レバーを握り残圧を抜く作業をしていたが、途中からは全て使用済みとの思いこみにより、残圧確認作業を怠った
4. 体験した事例の原因・理由	他に仕事が多かったので早くすませようとしていた。 最初の 2 ～ 3 本は残圧 0 であったため、全て使用済みで残圧 0 との思いこみによりゲージによる残圧確認及びゲージは 0 を指していても念のためレバーを握り残圧を抜く等の作業を怠った。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

.....

1. 発生日時	平成 18 年 5 月 21 日 午前 0 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：車庫前
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる、
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：訓練用水消火器詰め替え作業中の事故
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[50]歳、勤続年数[32]年、現場経験年数[32] 年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 []
○当事者 B	年齢[29]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1 . 事例発生の経過。

.....

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	車庫前で訓練用水消火器 6 本の詰め替え作業を始めた。	
経過 2	当事者 A	当事者 A の横では同僚が車両点検をしていた。	
経過 3	当事者 A	最初の 2 ～ 3 本は残圧 0 (ゲージ) レバーを握っても水及び空気はでなかった。	
経過 4	当事者 A	他の仕事も溜まっていたので手早く済ませようと思った。	
経過 5	当事者 A	持ってきた水消火器全てが残圧 0 と思い、途中からゲージを見るのみで、レバー操作による残圧抜きの作業を止めた。	
経過 6	当事者 A	5 本目を入れ替えようとしたとき、ゲージは 0 より少し上であったが、残圧 0 と思い水栓を緩めはじめた。	
経過 7	当事者 A	9 割方緩んだ時に、水栓が勢いよく飛んだ。	
経過 8	当事者 B	訓練用水消火器の詰め換え作業をしている当事者 A の側で車両点検をしていた。	
経過 9	当事者 A	車両点検をしている同僚 (当事者 B) の横をかすめ、約 20 メートル飛んだ。	
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合 ：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b．注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c．経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d．心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e．資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g．行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h．足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l．その他の理由があった。

いいえ

ヒヤリハット発生状況図

